

1 桜切る馬鹿 梅切らぬ馬鹿

厳しい冬が終わって春の到来を迎え、自然の息吹を感じられる時期になりました。ところで、皆さんも上記の言葉を聞かれたことがあると思います。意味は「桜は下手に切ると切り口から菌が入って次第に枯れていくことがあるので、剪定などは慎重にすべきであり、梅は逆に切ることで枝の数が増え、花が多くつくので切ることを勧める」というものです。つまり、植物にはそれぞれ特徴があり、それを無視して全てを同じように処置すると、うまく育たない場合があるということです。

それは人間の世界にも当てはまると思えます。人間にも各々個性があるわけで、全ての人を一括りにして対応してしまうと、その個性をつぶしてしまう可能性があるのではないのでしょうか。個性の尊重、それはつまり一人一人を大切にすることです。



2 一人一人を大切に

昨年、県内において小学校時の担任による暴言や体罰を伴う指導や高校部活動における上級生からの過度な指導などが問題になりました。尊い人命が失われたことがきっかけでした。その指導法により成果が出ていたことや、長年続いてきた伝統だからなどの理由から見過ごされてきた経緯があったようです。その背景には様々な事情や人間関係もあるとは思いますが、私たちは基本的で大事なことを忘れてはいけないと思います。

家庭や職場、学校などにおいて一人一人を大切にしようと言われますが、それはつまり一人一人の人権をみんなで守ろうということです。その人権が時には理不尽な暴力や行為で阻害されてしまうこと、それが人権侵害であり、誰の身にも起こり得る身近な問題だということを確認したいと思います。誰もがお互いの個性を認め合える社会、人権を守り合う社会をつくっていききたいものです。

おうちで食べたい給食レシピ！
「春野菜のシチュー」



【材料（4人分）】
ベーコン（短冊切り）……………20g
鶏肉（こま切り）……………30g
たまねぎ（1.5mm角切り）……………200g
にんじん（5mm幅イチョウ切り）……………60g
新じゃが（2cm幅イチョウ切り）……………150g
春キャベツ（3cm角切り）……………60g
アスパラガス（ななめ切り）……………20g
しめじ……………30g
オリーブオイル（サラダ油でも可）……………大さじ1弱
おろしにんにく……………1g
白ワイン（料理酒でも可）……………小さじ1
食塩……………小さじ1/2
こしょう……………少々
コンソメ……………小さじ1
うすくちしょうゆ……………小さじ1
豆乳……………120g
米粉……………16g

【作り方】
① 鍋を中火にかけ、オリーブオイルを入れ、ベーコンを炒める。ベーコンから油が出てきたら、鶏肉、おろしにんにく、白ワイン、塩、こしょうの順にいれ、炒める。
② 鶏肉の色が変わったら、たまねぎ、にんじん、新じゃが、しめじの順に入れ、その都度炒める。
③ 野菜が炒まったら、具材がかぶるくらいの水を入れて、煮込む。
④ あくをとったら、コンソメを入れてさらに煮込む。
⑤ 具材に火がとおったら、春キャベツとアスパラを入れる。しんなりしたら、弱火にし、豆乳を入れる。
⑥ 水で溶いた米粉でとろみをつけ、うすくちしょうゆを入れたらできあがり。

ひとくちメモ
旬の食材をたっぷり使ったシチューです。春野菜は水分量が多く、火のとおりも早いのであまり煮込みすぎないことがポイントです。また、豆乳と米粉を使っているのであっさりとした味わいに仕上がります。野菜は1日に350g以上の摂取を推奨されています。春はおいしい野菜がたくさんあるのでぜひご家庭でも積極的な野菜の摂取をしてもらいたいと思います。

文芸広場

肥後狂句
三寒四温 仕舞い忘れが役に立ち 石原かわせみ
三寒四温 じきイ花粉にこなさるる 庄山 道草
値上げばかり すぐはってかす諭吉殿 池田 茜
値上げばかり 頭捻ねくり惚け防止 二瀬 桔梗
値上げばかり 値札の数字うらめしか 高木せいや
値上げばかり 頭が痛かやり繰りに 瀬上 歌子
男と女 邪魔になつたり頼ったり 井上りんどう
男と女 二次会までは見かけたが 池上 沢庵
男と女 共にらしさは失なわれ 福永すみれ

かなしき原俳句会
来し方を語る夫亡き春の月 貞子
春浅き漱石の湯に浸りけり 誠一
戦禍一年彼の国の春何処 明
灰塚はのろしの跡や土筆摘む 康子
母の忌の母を語りてあたたかし 弘子
菊水俳句会
鶯や初音古老の住まう辺へ 宮中康雄
菜の花に囲まれ明るいケアの宿 永田紘彦
白木蓮や見上げる空の狭きこと 本田美穂子
春の路ベトナムの娘の弾む声 嶋田俊一
明けやらぬ西に大きな月朧 池田松子

和水町公民館図書室だより

問 中央公民館図書室 ☎0968・86・2022
三加和公民館図書室 ☎0968・34・3047

開館午前9時～午後10時（年末年始除く） 1回につき1人5冊まで、2週間借りることができます。

★『除菌BOX』導入しました！
＊町公民館図書室に、新しく本の除菌BOXを設置しました。この機械の中に本を入れておくと、わずか45秒で本についた菌が除去されます。どなたでもご自由にお使いいただけます！（注!!決して本以外は入れないでください！）
＊ご不明な点があれば、事務所にお声かけください。

「除菌BOXの使い方」
① 扉を開けて本を入れます。（中に網棚が4段あります。）本は重ねて置かないでください。
② 扉を閉じて、右上のスイッチ（青色）を押します。
③ 左上のガラス窓から青色の光が見えたらスタートです。
④ 45秒間お待ちください。ガラス窓の光が消えたら終わりです。
⑤ 本を取り出してください。

